

おぢや市議会 だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 108
令和5.4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

- 第1回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3
- 一般質問 …… P4
- 議会日誌 …… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

投稿者：山本久代さん（内ヶ巻）
タイトル
「気が早いですがね、タンポポさん。」

第 1 回 定 例 会 議 決 結 果 (2月27日から3月22日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第12号	小千谷市避難行動要支援者の個人情報の提供等に関する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議案第13号	小千谷市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
	議案第14号	小千谷市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議案第15号	小千谷市露店市場管理条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第16号	小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第17号	小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第18号	小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第19号	小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第20号	小千谷市妊産婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第21号	小千谷市地域福祉基金条例を廃止する条例の制定について	〃	〃
	議案第22号	小千谷市山本山育成牧場条例を廃止する条例の制定について	〃	〃
予 算	議案第1号	令和5年度小千谷市一般会計予算について	賛成多数	〃
	議案第2号	令和5年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について	〃	〃
	議案第3号	令和5年度小千谷市介護保険特別会計予算について	全会一致	〃
	議案第4号	令和5年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について	賛成多数	〃
	議案第5号	令和5年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について	全会一致	〃
	議案第6号	令和5年度小千谷市ガス事業会計予算について	賛成多数	〃
	議案第7号	令和5年度小千谷市水道事業会計予算について	全会一致	〃
	議案第8号	令和5年度小千谷市工業用水道事業会計予算について	〃	〃
	議案第9号	令和5年度小千谷市下水道事業会計予算について	〃	〃
	議案第23号	令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第9号)について	〃	〃
議案第24号	令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	〃	〃	
そ の 他	議案第10号	専決処分について(令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第8号))	〃	承認
	議案第11号	専決処分について(令和4年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第3号))	〃	〃
	議案第25号	小千谷市財政調整積立金の処分について	〃	原案可決
	議案第26号	公共施設の相互利用に関する協定の一部変更について	〃	〃
	議案第27号	定住自立圏形成に関する協定の一部変更について	〃	〃
	議案第28号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	同意
発 議	議案第29号	小千谷市教育委員会委員の任命について	〃	同意
	発議案第1号	小千谷市議会個人情報の保護に関する条例の制定について	〃	原案可決
	発議案第2号	小千谷市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	山賀一雄	本田剛
議案第1号	原案可決	11	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第2号	〃	11	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第4号	〃	11	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第6号	〃	8	4	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—
議案第13号	〃	10	2	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—

※ ○は賛成、×は反対、議長(本田剛)は採決に加わりません。

佐藤 栄作 議員



教員免許更新制について

質問 現在の教育ニーズに 대응する「最新の知識・技能」の基本的な

捉え方、現状把握について。

教育長答弁 最新の知識・技能における参考となるのが、県教育委員会が定める育成指針であります。

教員に求められる共通の資質能力は①教員としての素養、②学習指導、③生徒指導、④特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応、⑤ICTや情報・教育データの利活用になります。変化し続ける社会や学校現場からの要請に的確に応えられるような教員の資質向上が大切です。

質問 教員の新たな研修制度をどのように策定するか。

教育長答弁 任命権者である新潟県教育委員会策定の教員研修計画には、対象となる教師の範囲、研修履歴の記録の目的範囲・内容・方法・時期・閲覧・提供、対話に

基づく受講奨励の方法・時期、学校内で行う研修履歴の記録と学校管理職以外の教師による対話に基づく受講奨励を位置付けています。研修履歴記録シートは教員自らが入力することになっており、その記録は校長が管理すると定めています。令和5年度から新たに特別支援教育指導主事を配置し、研修の充実を図るとともに、現在も行っている総合支援学校を中核とした相談支援・研修支援、年5回研修会を実施しています。

質問 新たな研修制度を、教育委員会として教員へどう啓発するか。

教育長答弁 新しい研修制度では、自分に足りない部分や時代の要請に合った課題の研修をタイムリーに受けられる良さがあると受け止めています。新しい研修制度が教員の負担にならないよう、教員にとって効率の良いオンライン、オンデマンドなどを活用してまいります。今後とも学校教育の様々な課題を解決へ導き、学校現場の実態や困りごとに即した実効性のある研修内容を提供します。

森本 恵理子 議員



女性に優しいまちづくりについて

質問 女性の社会進出の高まりとともに結婚率、出産率が下がっている。若い女性は市外へ流出したまま戻ってこない。特に政治の分野で女性の率が非常に低い。このような

当事者が抱える課題に真摯に向き合うことが重要。男女の格差を認識し、解消していくことが子どもを産める年代の女性を小千谷に呼び戻し、地域活性化、少子化対策の要になりうるのでは。女性の地位向上、格差軽減、負担軽減のために、女性にフォーカスした更に踏み込んだ施策が必要と考えるが見解を伺う。又、閉塞感、空気感という見えない部分に対しての政策が必要なので、「女性に優しいまち」をあえて打ち出すことも必要では。

答弁 当市においても「女性の活躍」は重要な視点であると認識している。「女性に優しいまち」も大

切だが、「みんなに優しいまち」を目指したい。

質問 「女性」を打ち出すことで今まで届かなかった層にも届くようになるのでは。そうすることが全体の底上げになると考えるが。

答弁 まずは全体に対して取り組んでいき、企業や男性からの理解を得られるように働きかけていく。

質問 SDGsの観点からも男女格差の解消に関する項目において日本は先進国で最下位。分科会等、回を重ねて開催することで意識啓発、課題認識、更に市民の行動変容へと繋げていくことが重要では。

答弁 検討していく。

質問 ひとり親世帯の生活の一助として養育費支援をしては。

答弁 先進事例を参考に研究する。

質問 政治や経済の場、町内会等の会議では圧倒的に女性が少なく、女性の意見が反映されていない。各世代の女性の意見を聞き、市政に反映する場が必要では。

答弁 有意義な意見交換を行える機会を創るよう検討していく。

質問 男女格差の現状認識と今後の対応の必要性について。

答弁 問題意識を持って取り組む。

阿部 守男 議員



小千谷市における今後の農政について

質問 離農者の増加への対策について

答弁 農業者の高齢化が進み認定農業者の74・5%が60歳以上のことから対策として年間6人の新規就農者の確保をめざす。

質問 中山間地域等直接支払制度の地域拡大と中山間地等の耕作放棄地について

答弁 農業を担う者に集約、集積し、地域計画を策定、目標地図により農地の利用形態などを確認し地域ごとでの話し合いを持つ。

これからの克雪都市について

質問 重機オペレーター確保についてと建設業界、他産業でのオペレーターの育成について

答弁 除雪オペレーター担い手確保協議会を設立、参加、冬期道路交通確保の実現、持続可能な除雪体制の構築をめざす。農業団体を

訪問し意見交換、農閑期に除雪業務できる農業者への働きかけを行う。就業者不足の解消に向けたおぢやしごと未来塾等就職説明会の開催や建設業のPRに取り組む。

カーボンニュートラルの取り組みについて

質問 カーボンニュートラルな都市と森林の育成について

答弁 人工造林以外については、整備が不十分な状態である。第5次小千谷市総合計画後期基本計画では森林の維持とする。

質問 十日町地域森林組合との意見交換等の取り組みについて

答弁 当市の森林の維持については、主に十日町地域森林組合が担う。今後カーボンニュートラルの観点からも意見交換は必要である。

質問 電気自動車の普及と充電施設の整備について

答弁 充電設備については、図書館等複合施設に2基整備する。

給食費無償化について

教育長答弁 国の制度に準じて副食費の免除対象を設けている。子育て支援の充実に取り組み、無償化はしない。

平澤 智 議員



公衆無線LANについて

質問 概要、エリアについて

答弁 アーケードの支柱にステッカーを掲示しエリアを示す他、ホームページ等でも周知をする。

質問 既設公衆無線LANとの互換性について

答弁 既設の公衆無線LANとの互換性は今のところない。

質問 関連イベントについて

答弁 春と秋にデジタルスタンプラリーを計画している。

質問 利用エリア計画について

答弁 整備エリアにおける効果を検証し財源等も勘案しながら慎重に検討する。

質問 多言語対応について

答弁 日本語、英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）で対応し公衆無線LANについて説明したホームページが表示される。

人材育成リーダー養成事業について

質問 ねらい、目的、事業評価について

ついて

教育長答弁 参加者がさまざまな課題をテーマとした研修を行い、問題解決に必要な知識やスキルの習得他業種の方との関わりを通じて、相互理解の促進とコミュニケーション能力の向上、さらに人的ネットワークの形成などにより地域のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とする。

質問 参加者の感想、評価を通じて新年度に向けての計画について

教育長答弁 講座終了後アンケートを実施したところ概ね全員の方から満足した内容であり理解することができたという回答があり、異業種同士で交流する機会があまりないため、講座を通じてさまざまな人の意見を聞くことができ、とても参考になったという意見が多かった。受講後業務を行う上で職場の仲間とコミュニケーションを図りながら相手の長所を引き出し、活かすことができるようになったという意見もあった。次年度は幅広い業種の方が参加しやすいようにインターバルを設定し、6月から9月の期間で実施予定。

市政の内容を聞く

一般

質問

山賀 一雄 議員



学校給食費の公会計化について

質問

中央教育審議会の答申に関連して、文部科学省から通達等何らかの指示がきているのか。

教育長答弁

文部科学省から令和元年7月31日付けで「学校給食費の徴収に関連する公会計化等の推進について」が通知された。

質問

文部科学省からの通達等を受けて、公会計化の検討は進めているのか。

教育長答弁

通達前の平成30年度から学校長、栄養教諭、事務職員等と、給食会計の透明化を目的の一つとして検討を進めていたが、給食費の公会計化が学校の働き方改革の方策の一つとして明確に位置付けられたので、これまでの検討は中断した。方向性としては、文部科学省の通知やガイドラインに示されているとおり、公会計化に向けて検討を進めていく。

質問

スケジュールや業務の担当部署を、どのように想定しているのか。

教育長答弁

具体的スケジュールや業務を担当する部署については、ガイドラインを念頭に、先進事例を研究し、学校とも協議を重ねながら検討を進めていく。

質問

ガイドラインに示されている公会計化等の効果について、どのように理解しているのか。

教育長答弁

公会計であれば、学校の業務負担の軽減、徴収・管理業務の効率化、公平性、透明性の点で効果はあると考えている。

質問

保育園給食費は一般会計で歳入処理されており、学校給食費でも同様に扱うことは可能と考えるが、問題点はあるのか。

教育長答弁

学校給食費を同様に扱う場合の問題点については、公会計化に向けて検討を進めていく中で、整理していく。

質問

文部科学省は、学校給食会との関わりをどのように指導、整理しているのか。

教育長答弁

学校給食会は、主食、牛乳など安定的供給の役割を果たしているが、文部科学省からは、指導等に関する通知は特にない。

住安 康一 議員



質問

認知症の人が外出時に他人にけがをさせたり他人の物を壊したりして、本人や家族が損害賠償責任を負った場合に備えた「認知症損害賠償保険制度」の創設について。

答弁

本来個人が負担すべき賠償保険の費用を自治体が負担することや認知症の方に限定した救済制度は、公平性の観点から疑義があるため、現時点では創設は考えていない。

質問

認知症になっても、人間の尊厳を持ち人間らしく生きることや、自分の意思が尊重されるために必要な取り組みの一つとして、認知症に備えるノート（認知症ケアノート）を作成し活用してはどうか。

答弁

ノートの作成に取り組んでおり、本年8月から試験的な利用開始に向け、現在関係者間で検討を進めている。

質問

認知症フレンドリー社会の実

現を目指した「認知症の人にやさしいまち小千谷宣言」の提案について。

答弁

認知症だけに焦点を当てた宣言よりも、「共生と予防を両輪とした認知症支援の推進」のために掲げた施策を着実に進めたい。

質問

元気な高齢者が支える側として活躍でき、介護予防と生きがいにつながる介護予防ボランティアポイント事業について。

答弁

期待される効果や地域支え合い活動への影響などについて、関係者の意見を聞き、必要性を判断したい。

質問

市民の健康を守るためや経済的負担軽減のために帯状疱疹ワクチン接種費用に助成をするべき。

答弁

国の動向を注視し、見極めることが課題であり、定期接種化へ向けた議論の行方を見守る必要がある。現段階においては、助成は考えていない。

質問

高齢者見守り相談装置は、固定電話回線用の装置だけではなく、携帯電話対応の装置を追加するべき。

答弁

導入の必要性を見極めたい。

吉崎 進 議員



JR小千谷駅のトイレについて

質問 外部公衆トイレが使用できず、内部トイレ、つまりホームにあるトイレを利用することになっているが、危険はないのか。

答弁 ホームには、白線や黄色い点字ブロックにより安全な位置が示されており、ホームにあるトイレは、この安全な範囲内に設けられている。

質問 ホームに入るための入場券が必要ないことになるが、他の駅もすべてそのようになっていくのか。

答弁 JR東日本新潟支社管内の内部トイレのみ設置されている他の駅においても、小千谷駅と同様、内部トイレを利用する際は、入場券不要の対応とされている。

質問 JR小千谷駅は、小千谷市の玄関である。今までどおり外部トイレを利用できるようにJR東日本に認めさせ、さらにバリアフ

リー及び車椅子でも利用できるよう改修してもらうか、それができない場合はJR小千谷駅の階段下に市の土地があるのだから市としてバリアフリーで車椅子でも利用できる公衆トイレを設置する必要があると思うが。

答弁 小千谷駅にいつでも利用できるトイレが設置されていることから、新たに市がトイレを設置する考えは無い。しかし、小千谷駅のトイレは、バリアフリーに対応した多目的トイレではないため、多目的トイレへの改修及び維持管理の継続をJR東日本へ働きかけていく必要があると考える。また、これに合わせて、小千谷駅にエレベーターを設置していただくなど、駅前広場を含めた駅周辺のバリアフリー化を進めるとともに、誰もが利用しやすい駅となるよう、来年度以降、関係者による協議を行う。

久保田陽一 議員



今冬の雪害や今後の克雪事業について

質問 昨年の豪雪を教訓に県や国にどのような提言や要望など働きかけを行ったのか。

答弁 全体を俯瞰する情報が不足していたことから、事前の情報共有と具体的な対応方針の共有について国と東日本高速道路株式会社と強く要請した。また、当市も加盟している新潟県雪対策協議会から国に対し、特別交付税及び補助制度による道路除排雪経費の財政支援をお願いした。

質問 昨年12月の豪雪の整理・検証の結果、どのような対策が講じられたのか。

答弁 情報連携による対策構築の対策として、国、新潟県、東日本高速道路株式会社、市町村それぞれが情報発信、閲覧ができる国のWEBシステムを活用した情報共有を行うこととした。また、県内の高速道路と国道8号、国道17号

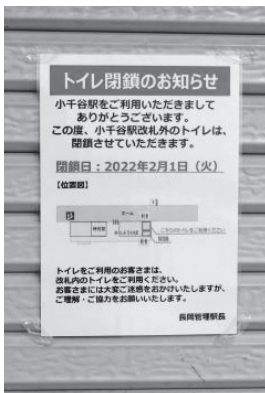
など直轄国道が通る地域を対象とした広域的なWEB会議を24時間体制で立ち上げ、国を中心に新潟県や市町村の他、東日本高速道路株式会社、各地域の消防本部、警察署が同席したうえで、リアルタイムな情報に基づき、交通規制の範囲と作業予定時間に関する情報の共有が行われた。

質問 市のLINE道路損傷通報システムを利用し、市民総参加でリアルな情報収集に役立てるべき。

答弁 運用開始から実績が浅いことから、当面は道路の維持や事故防止といった本来の目的を損なわないよう、運用していく。

質問 除雪計画の抜本的な見直し、雪下ろし業者や団体への支援は。

答弁 国の豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用し、「地域安全克雪方針」を策定中。除雪計画についてはこの方針との整合性を含めて見直しを検討する。雪下ろし作業への支援は「地域安全克雪方針」策定に合わせて判断する。



市政の内容を聞く

一般

質問



市政の内容を聞く

一般

質問

長谷川 有理 議員



女性と若者が活躍する小千谷を

質問 小千谷学生寮の新年度女子入寮見込みと実現についての所感。

教育長答弁 現時点で8名の入寮が決定。男子学生同様首都圏に進学する女子学生の就学を初めて支援でき、教育長としても嬉しい。

質問 学生寮を交流のハブとして発展させるような施策展開を。

答弁 昨年も就職支援事業として当市出身学生に参加してもらい学生寮を会場に交流会を開催した。新年度の女子入寮の実現は女性活躍推進の面からも歓迎すべきこと。しっかりと学生寮をU・Iターンや交流の場として活用したい。

質問 市職員の時間外勤務や平均残業時間の数値と削減目標は。

答弁 年間360時間超えの職員は令和3年度22人、令和4年度現在17人。平均残業時間は令和3年度106時間、令和4年度現在103時間。時間外勤務削減を図る。

質問 令和3年度市男性職員育児取得0、配偶者出産休暇取得率！育児休暇取得率33%の現状改善を。

答弁 これまで4名の男性が育児取得している。男性職員の育児が取得しづらい声は聞いている。

質問 危機感を持って向き合うべき。他自治体は市男性職員育児取得を数値としてPRしている。

答弁 潜在的ニーズあるかもしれない。相談しやすい環境を作る。

質問 市の障がい者雇用の法定雇用率が未達成。小千谷市障害者活躍推進計画に則り数値達成をきちんと図るべきではないか。

答弁 令和3年度末に職員2名が退職したことに伴い一時的に下回ったためで問題はない。

質問 現時点でも新年度も達成されないことが問題なのではないか。

答弁 現状、達成は図れていないが、達成できるようにハローワークとも連携して取り組んでいく。

質問 当市の審議会で女性割合約21%、女性委員ゼロ審議会が約27%、女性自治会長0%、防災会議委員の女性の割合0%の改善を。

答弁 更なる向上を目指し啓発・働きかけをこれから研究していく。

駒井 和彦 議員



企業誘致・SDGs・中山間地域振興・危険家屋・小千谷の将来像について

質問 トップセールスについて。

答弁 既存の枠組みや認識を打破するために、国や県、企業を巻き込みながら訴えかける。そして大胆且つ細心に行動し結果を出していく。これが私の考えるトップセールス。

質問 錦鯉の国魚認定、世界錦鯉サミット、(株)JSフランダリの誘致等成功させてきた市長の、次なるターゲットは何か。

答弁 この場で私自身が思い描いている施策の方針を具体的に申し述べる事は適切でないという事をご理解の上で、明確なターゲットと言う事ではないが、今後当市のも更なる飛躍に繋げるために考えている構想の一端として、宿泊環境の整備、常盤橋プロジェクトの成果拡大などがある。特に常盤橋に完成予定のトーチタワー内に、錦

鯉鑑賞やARを活用した花火映像を映し出したりする事を提案、真の目的の経済効果や産業振興に繋げたい。併せて県と連携し、当市が国内パワー半導体産業集積拠点地域となるよう取り組む。

質問 SDGsの取組について。

答弁 これ以上の取り組みは考えていないが引き続き啓発に努める。

質問 労協法の取組について。

答弁 相談があれば、所管行政庁と連携し、パンフレットなどの各種情報の提供含め対応したい。

質問 中山間地農業振興について。

答弁 農産物の高付加価値化、販路拡大、地域計画作成による耕作放棄地対策、JA合併については、合併後も円滑に連携出来る様、情報交換に努める。

質問 危険な特定空き家について。

答弁 現在も対応している。税金については、法律の趣旨に沿って今後も対応していく。

質問 市長の描く当市の将来像は。

答弁 街に子供の元気な声が響き、住む人・働く人・学ぶ人が笑顔で、産業や観光を通じ、人や物が県内外で活発に交流する街を目指す。

内山 博志 議員



学校給食の無償化について

質問 物価高騰の中、年間の実質賃金さが下がり続け、1996年から2022年までに65万円も減少している。学校給食の無償化は、全国の自治体の3割で実施、新潟県内でも妙高市、湯沢町含め4市町村が実施。給食費の無償化を見据え、負担軽減を行うべきではないか。税金の使い方を子育ての優先度を高くすべき。

会計の透明性、教職員の働き方改革と一緒に解決する給食費の無償化は有効ではないか。

教育長答弁 国の補助が無い中、新年度も一食10円の補助を実施する。無償化は、国や県の対応を見てゆく。給食の財源は施設、人件費等の運営費は市が、食材は保護者が負担している。働き方改革などの解決と無償化は研究したい。

マイナンバーカードについて

質問 マイナンバーカードの取得は任意だ。カードにデータが増えれば増えるほど情報漏洩や不正利用の危険性が高まる。裁判例では、カードの利用範囲を社会保障、税、災害の3分野に限定しているが持ちたくない、必要ないという人が相当数いる。今後、市の支援制度などでカードのある、なしで有利、不利があつてはならないと考えるが市長のお考えは。

答弁 当市においてカードの所持を条件とする支援制度はしていない。そのようなことは検討していない。

介護保険の保険者としての対応について

質問 当市には現在、介護タクシー事業者がない。保険者として介護保険サービスを利用できず自己負担を強いられている利用者の負担軽減のため在宅介護手当の適用を広げ、支援できないか。

答弁 介護支援専門員会議で介護タクシーが無くなったことに対する問題を洗い出し、対策の必要性を検討している。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。(令和5年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第1回臨時会開催予定

5月15日(月)

第2回定例会開催予定

6月2日(金)	第1日	議案上程説明
6月5日(月)~7日(水)		各常任委員会 で審査
6月21日(水)	第2日	一般質問
6月22日(木)	予備日	一般質問(質問者が多い場合に開催)
6月26日(月)	最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用

iPhone用



市政の内容を聞く

一般

質問

〈1月〉

- 6日 広聴広報委員会
- 16日 広聴広報委員会
- 20日 議員全員協議会
- 議会改革推進委員会
- 24日 全国市議会議長会国会対策委員会（東京都）

〈2月〉

- 1日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 3日 県市議会議長会春季定期総会（南魚沼市）
- 8日 教育委員と総務文教委員との意見交換会
- 14日 議員協議会
- 議員全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 27日 第1回定例会（本会議）
- 広聴広報委員会
- 28日 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 1日 常任委員会連合審査会
- 総務文教委員会
- 6日 民生産業委員会
- 7日 議会運営委員会
- 16日 本会議（第2日）
- 本会議（第3日）
- 17日 本会議（第3日）
- 広聴広報委員会
- 議会運営委員会
- 22日 本会議（第4日）
- 総務文教委員協議会
- 29日 広聴広報委員会



田崎文雄（若葉一丁目）

ヒョンなことから、NPO法人「共に生きる」の仲間に入れて頂くことになり10年になりました。NPO法人「共に生きる」といっても何をしている団体かわからない方が殆どと思います。

内容は障がい者施設（グループホーム）の運営と小千谷市から受託されクリーンスポット大原に毎日5人を派遣している就労支援の二本立てです。

現在グループホームは男女各一棟（8人）が在所、クリーンスポットメンバーは（9人）でそれぞれ運営しております。

冒頭ヒョンなことからと言いましたが、丁度私が空家を解体しようとして整理していたらご婦人が通りがかりこの家を貸して欲しいといわれたのがきっかけで今があります。その一瞬がなければ永久に現在はありません。縁とは思議なものだと感じています。その後「共に生きる」が運営していると前理事長から聞き何処かで聞いた言葉「共に」は若い頃、専正寺前住職定宏師との学びの席で「共に生きる」とは自己の都合によって斬れない関係などと話されていたことを思い出しました。

自分に務まるのかと考えたなかで彼らを支援することはまた彼らから学ぶべきこともあるのではと考え仲間の末席に入れて頂きました。運営を担って七年になります。会員の皆様や多くの方から見守られての年月でした。

私達の組織のモットーは社会復帰を目指して頑張っている人の個々に対応した支援及びそのご家族の安心を目指した支援を行って行く。小さな組織だからこそ可能な支援を継続できればと考えております。

編集後記

また市議会議員改選の時期になりました。

この4年間のうち、3年間は新型コロナウイルスにより、マスク着用が義務付けられたり、議場の議員席の間隔を広めにとったり、一般質問の際には発言後、マイクを消毒したり、行政視察を制限されたりと様々な制限を受け、今までに経験したことがない状態が続きました。

また、市長選挙に出馬するため2名の議員が辞職し、県議会議員選挙に出馬するために1名の議員が辞職し、最終的には13名の議員となりました。3名の議員が欠員となった場合は補欠選挙が行われるのですが、県議会議員出馬のために議員を辞職した時期が、市議会議員選挙まで半年以内だったため、補欠選挙は行われませんでした。

この市議会だよりが皆様の手元に届く時には新しい16名の市議会議員が決まっております。新しい市議会議員の活躍を期待してペン置くことといたします。

編集委員 吉崎 進